

日中文温の絆

「四字熟語」の今がおもしろい

## 日中文温の絆 「四字熟語」の今がおもしろい

### 「企画案」

「四字熟語」（四字成語）は、広い漢字文化圏で先人がなした事跡（故事）を後人が人生の叡知として記憶し記録し用いてきたもので、漢字のもつ特徴を活かして多くは四字の形に整えられています。ひとつのことばからひとつの人生（四面楚歌や日復一日）を知ることできます。

ここでは日本ではなじみが薄いけれども中国ではよく使われる内容の豊かな成語（熟語）を数多く取り上げていきます。多くは同形同義で用いられています。なかには文字の順（山海珍味Ⅱ山珍海味や正々堂々Ⅱ堂堂正正）や一字違い（竜頭蛇尾Ⅱ虎頭蛇尾や朝令暮改Ⅱ朝令夕改）や成立事情の違い（良妻賢母Ⅱ賢妻良母）なども見かけますので、そういうことばは注意して取り上げるようにしました。

日本人は「四字熟語」が好きなようです。姓名でも多いですし街なかでもよくみかけますし。日中交流の場面でも「一衣帯水」や「春華秋実」などは友好の絆として共有されています。

日中間に政冷経冷の時期があつても、「文温の絆」はけっして途絶えることはないでしょう。

### 堀内正範

一九三八年、東京生まれ。都立両国高校、早稲田大学文学部卒業後、朝日新聞社に入社。『知恵蔵』編集長などを務める。一九九四年に早期退社して中国中原の古都洛陽市へ。洛陽外国語学院外籍專家を経て同学院日本学研究中心研究員。洛陽国際龍門石窟研究保護学会本部顧問。滞在中に中原地域の歴史文物を探查。

著書に

『洛陽発「中原歴史文物」案内』（新評論）

『中国名言紀行 中原の大地と人語』（文春新書）

『人生を豊かにする四字熟語』（ランダムハウス講談社）など

日中友好協会紙『日本と中国』に、

「平和の絆・友好都市ものがたり」（二〇〇四〜二〇〇六年）

「四字熟語ものがたり」（二〇一一年〜二〇一三年）を連載

web 円水社＋「四字熟語の愉しみ」を連載中

孔子学院 news に「堀内さんと愉しむ四字熟語」を連載中



人間存在 1

からだ 1

「目迷五色」 「一目十行」 「眉来眼去」 「百齡眉寿」 「和顔悦色」  
「明眸皓齒」 「赤身露体」 「著作等身」 「胸有成竹」 「胆大包天」  
「摩肩接踵」 「立雪斷臂」 「手舞足踏」 「十指連心」 「救死扶傷」  
「刮骨療毒」 「命若懸糸」 「壽終正寢」

こころ・こころざし 10

「心服口服」 「心有余悸」 「痛心疾首」 「冰心玉壺」 「壯心不已」  
「愛莫能助」 「哀哀父母」 「哀而不傷」 「嗚呼哀哉」 「不恥下問」  
「忍辱負重」 「想入非非」 「無地自容」 「神機妙算」 「美意延年」  
「吉祥如意」

ふるまい 18

「言笑自若」 「大弁若訥」 「声振林木」 「先声奪人」 「如座春風」  
「聞一知二」 「泣涕如雨」 「可歌可泣」 「奔走相告」 「走投無路」  
「邯鄲学步」 「寸步不離」 「信言不美」 「信誓旦旦」 「交口稱贊」  
「歪打正着」

くらし・家庭 26

「天衣無縫」 「量体裁衣」 「飲食男女」 「茶余飯後」 「山珍海味」  
「浮瓜沈李」 「夜不閉戶」 「万家灯火」 「賢妻良母」 「敬老慈幼」  
「一字之師」 「得意門生」 「日上三竿」 「花花公子」 「能者多勞」  
「正本清源」 「無価之宝」 「鱗次櫛比」 「举棋不定」 「弦外之音」  
「文不加点」 「温文爾雅」 「斤斤計較」 「以訛伝訛」 「優哉遊哉」  
「美輪美奐」 「堂堂正正」 「登堂入室」 「就地取材」 「滿載而帰」  
「狹路相逢」 「無翼而飛」 「物是人非」 「大殺風景」

しんがく・社会 43

「経国大業」 「多難興邦」 「天下為公」 「山中宰相」 「官官相護」  
「両袖清風」 「入郷随俗」 「小国寡民」 「喬遷之喜」 「虚位以待」  
「急流勇退」 「急中生智」 「買空売空」 「通商寬農」 「左右逢源」  
「左道傍門」 「三更半夜」 「事半功倍」 「平易近人」 「平起平坐」  
「強詞奪理」 「日理万機」 「厚德載物」 「滿腹経綸」 「失道寡助」  
「黑白混淆」 「举世無双」 「濫竽充數」 「同舟共濟」 「来日方長」  
「貪生怕死」 「兩敗俱傷」 「衆矢之的」 「無的放矢」 「短兵相接」  
「有征無戰」 「秀色可餐」 「争分奪秒」

## 歷史·文化 62

「伯樂相馬」 「老馬識途」 「溫故知新」 「不爭之德」 「拔苗助長」  
「羊統懸魚」 「疾風勁草」 「日復一日」 「三顧茅廬」 「好好先生」  
「單刀赴會」 「世外桃源」 「一波三折」 「臨池學書」 「牛角掛書」  
「乾坤一擲」 「斗酒百篇」 「一葉知秋」 「半部論語」 「天上人間」  
「名落孫山」 「一琴一鶴」

## 自然 73

「陽春白雪」 「筆下春風」 「春回大地」 「臘尽春回」 「三春之暉」  
「年年歲歲」 「春華秋實」 「鶯歌燕舞」 「夏雨雨人」 「隨車夏雨」  
「平分秋色」 「秋收冬藏」 「雪中高士」 「雪中送炭」 「歲寒三友」  
「一陽復始」 「天涯海角」 「樂天知命」 「露水夫妻」 「旧雨新知」  
「風花雪月」 「披星戴月」 「七月流火」 「吉星高照」 「高山流水」  
「氣吞山河」 「円水礼贊」 「逆水行舟」 「雨過天青」 「断雨殘雲」

## 動物 88

「蚕食鯨吞」 「蠅頭微利」 「蛙鳴蟬噪」 「貓鼠同眠」 「吳牛喘月」  
「虎落平川」 「狡兔三窟」 「狐兔之悲」 「龍馬精神」 「画龍点睛」  
「筆走龍蛇」 「走馬看花」 「害群之馬」 「博士買驢」 「亡羊補牢」  
「窮猿投林」 「千里鵝毛」 「鵬程万里」 「鳳鳴朝陽」 「鳳毛麟角」  
「乱点鴛鴦」 「精衛填海」

## 植物 99

「松柏之茂」 「樹大招風」 「独木難支」 「良禽折木」 「火樹銀花」  
「花開無聲」 「寒花晚節」 「錦上添花」 「柳暗花明」 「明日黄花」  
「狂花病葉」 「葉落歸根」 「十步芳草」 「出類拔萃」 「春筍怒發」  
「桃李不言」 「眼花繚乱」

## 鈹物 108

「一言九鼎」 「石破天驚」 「一盤散沙」 「沙裡淘金」 「掌上明珠」  
「小家碧玉」 「十年一劍」 「掩耳盜鈴」 「破鏡重圓」 「象箸玉杯」

## 數字 113

「半晴半陰」 「半部論語」 「一以貫之」 「一琴一鶴」 「一言九鼎」  
「一字一泪」 「一字之師」 「一塵不染」 「一波三折」 「一盤散沙」

「一文不名」 「一本万利」 「一目十行」 「一葉知秋」 「一陽復始」  
「一落千丈」 「聞一知二」 「乾坤一擲」 「濟々一堂」 「日復一日」  
「兩袖清風」 「三更半夜」 「三顧茅廬」 「三春之暉」 「狡兔三窟」  
「歲寒三友」 「日上三竿」 「不三不四」 「五光十色」 「目迷五色」  
「七嘴八舌」 「十年一劍」 「十全十美」 「十指連心」 「十步芳草」  
「九十春光」 「百齡眉壽」 「斗酒百篇」 「千里鵝毛」 「各有千秋」  
「尺幅千里」